

鴨川市立図書館協議会会議録

1. 日 時 : 平成28年6月3日(金)
15:00～16:30
2. 場 所 : 鴨川市立図書館 集会室
3. 出席委員 : 石井 正幸 (学校教育関係者)
佐藤 香織 (学校教育関係者)
北村 かほる (家庭教育の向上に資する者)
庄司 利男 (学識経験者)
野崎 良子 (学識経験者)
4. 欠席委員 : 鈴木 希彦 (学校教育関係者)
5. 出席職員 : 野田 純 (教育長)
黒野 雅典 (生涯学習課長)
岡本 求 (図書館長)
洲永 美奈子 (図書館主査)
白鳥 修一 (図書館主査)
6. 会議概要 : 別紙のとおり

1. 開会

(白鳥主査)

本日の会議でございますが、長狭高等学校長の鈴木希彦委員から欠席とのご連絡がございましたので、委員の出席は、5名でございます。委員過半数の出席がございましたので、鴨川市立図書館設置条例第6条第2項に基づき、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。会議に先立ちまして、本日会議に出席させていただきます職員の紹介をさせていただきます。野田教育長でございます。黒野生涯学習課長でございます。図書館の岡本館長でございます。同じく、図書館司書の洲永主査でございます。よろしくお願いいたします。それでは、ただいまより、平成28年度鴨川市立図書館協議会を開会いたします。

2. 委嘱状交付

(白鳥主査)

はじめに、委嘱状の交付をさせていただきます。野田教育長よりお願いいたします。

(教育長より委嘱状を交付)

3. 教育長あいさつ

(白鳥主査)

ありがとうございました。つづきまして、野田教育長よりご挨拶を申し上げます。

(野田教育長)

本日は大変お忙しい中、鴨川市立図書館協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、今、委嘱状を交付させていただきました。平成28年5月1日付けということで、よろしくお願いいたします。日頃から鴨川市の社会教育行政に対しまして、いろいろな立場からご指導、ご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。教育委員会では、子どもから大人までの生涯を通じ総合的な教育の充実を図るため、様々な事業を展開しております。そうした中、市民が自らの生涯を充実されていくために、図書館の役割というものがますます大きな役割を果たすようになってきたと実感しております。平成23年度に作成いたしました、「鴨川市生涯読書推進計画」のもと、図書館と学校、また、関係機関、諸団体との連携を図りながら、図書館としてできること、学校、そして地域が出来ることなど、それぞれの役割に於いて実践し、少しずつその成果が見えてきたところでございます。実は、学力状況調査というものを小学校6年生、中学校3年生がやっている訳でありますけれども、鴨川市、特に顕著なところは、小中とも国語の力が県平均、国平均よりも高いと。ここ数年の間に、そういったところが見えてまいりました。これも、子どもたちの読書力の向上等が影響しているのではないかと思います。これまで中学生の読書力の向上と、遠隔地市民へのサービス向上について、重点的に実践してまいりました。後程、事務局より実施状況や成果と課題について報告させていただきます。また、今年度より図書館が取り組む新規事業につきましても提案がございます。「市民一人ひとりが輝く生涯学習のまちづくり」の実現に向けた図書館づくりのために、今後も取り組みを重ねてまいりたいと思いますので、この協議会におきまして、皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4. 会長、副会長の選出について

(白鳥主査)

つづきまして、「会長、副会長の選出について」でございます。本協議会は、鴨川市立図書館設置条例第5条第5項により、委員の互選により会長及び副会長各1名を置くことが定められております。どなたか会長、副会長のご推薦をいただけますでしょうか。

(石井委員)

長狭中の石井です、よろしくお願いします。委員の中から、学識経験者ということで、元校長の庄司利男先生、それから、図書館教育に非常に造詣のある一般の方で、北村かほる様に会長並びに副会長をお願いできたらと考えます。よろしくお願いします。

(白鳥主査)

ただいま、石井委員からご推薦をいただきました。みなさまいかがでしょうか。

(拍手あり)

(白鳥主査)

ありがとうございます。それでは、庄司会長、北村副会長ということで、任期の間よろしくお願いします。

5. 会長あいさつ

(白鳥主査)

続きまして、庄司会長よりご挨拶をお願いしたいと存じます。

(庄司会長)

ご推薦ありがとうございます。こういう公式的な話というか、議事録が記載されるような会はこれだけになりまして、また2年間よろしくどうぞお願いいたします。

(白鳥主査)

ありがとうございます。本会議は鴨川市立図書館設置条例第6条によりまして、会長が議長となることが定められております。庄司会長に議長席へお付いただき、議事を進めていただきたいと存じます。庄司会長よろしくお願いします。

6. 議事録書名人の選出

(庄司会長)

改めて、庄司でございます。よろしくお願いします。議事進行をつとめさせていただきます。まず、会議に先立ちまして、本会議の議事録署名人の選任をいたします。会長の私から指名させていただきますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(庄司会長)

ご異議なしと認めます。それでは、本会議の議事録署名人を石井正幸委員さんにお願いします。よろしくお願いします。

7. 議題

(庄司会長)

会議次第に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

議題(1) 平成27年度図書館事業報告について事務局からの説明をお願いします。

(白鳥主査より資料1・2に基づき「平成27年度図書館事業報告」の説明)

(庄司会長)

はい、ありがとうございました。事務局からの説明が終わりましたので、ご質問ありますでしょうか。ご意見を含めてでも結構でございますけれども。いかがですか。

(野田教育長)

それでは、現場の方にお伺いしたいんですけど。長狭中、それから鴨川小学校では朝読書をやられていましたっけ。どうですか子どもたちの読む本の種類というか。どういうものが傾向とか。

(佐藤委員)

子どもたちは、自分で手を伸ばして読む本は、ほとんど9類が多いです。だけど、やはり4類とか3類とか他の類に手を伸ばして欲しいので、その場合は、国語で単元を組みまして、説明文を読んで、それを例えば、秘密図鑑を作ろうみたいな単元を組んで、わざと3類や4類に手が届くように行っております。

(野田教育長)

授業の中で、子どもたちの読書意欲を高めるような努力をしている。

(佐藤委員)

はい。あとは、声かけも行っております。

(野田教育長)

中学校はどうですか。

(石井委員)

中学校の方はですね、私の記憶ですと、何年か前に原政子先生が図書館館長だった時に、中学生の読んでいる本が、いわゆる世間で言うライトノベル、非常に中身が文学というよりも、漫画やゲームのストーリーといわゆる文学の傾向との真ん中辺りにあるようなものを読んでいる傾向が非常に多いということで、中身もちょっと朝読む本としてはどうかなというのが、その時に問題になりまして、ただ読書の思考というのは個人の個性も当然あると思いますので、強制的に何かを読ませるといのはなかなかないんですけれども、ですから子どもたちは、自分の家から持ってきた本又は中学校の朝読書用ということで、本校だと教室の後ろにあるロッカーの上に図書館からいつも配本していただいているボックスごと常に置いてあるという風景が日常的になっているんですけれども、そういうところから借りた本、それから図書室から借りた本と混ざっているようなところがあります。それから、国語の授業の中でいきますと、教科書の中に読書室というページがあるんですけれども、例えばそういうページをめくっていくと、ひとつの教材に関連する図書又はその教材を書いた作者が別の作品を書いている場合には、その別の作品の名前等々もありますので、そういったところを紹介しているという風なところでございます。あと、朝読書については、学級担任が主で、学級活動の中でやっておりまして、本校の場合では、本当に特別な事情がない限りは、朝読書の時間をカットしたりしない、通年で行って活動しております。以上です。

(野田教育長)

あの、会長。私はよく知らないんですけど、保護者の方もおられると思うんですけど、今、テレビとか映画の原作、それが漫画とかライトノベルが多いというのを聞いたんですけど、それは事実なんですか。よく映画になるとか。

(洲永主査)

確かに今は多いです。コミック版からドラマ化されたりとか、映画化されたりというのはとても多くて、そこから逆に小説化されているものも多いです。

(野田教育長)

そういう実態があるということですね。

(庄司会長)

平成27年度の事業報告での質問はどうですか。無いようでしたら、全体的なお話については、最後に時間を設けたいと思います。事業報告の説明についてはどうでしょうか。

(庄司会長)

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(庄司会長)

それでは、議題1の「平成27年度図書館事業報告について」ご承認いただける方は、挙手をお願いします。

(全員挙手)

(庄司会長)

挙手全員でございます。議題1につきましては承認されました。ありがとうございます。

(庄司会長)

それでは、議題2「平成28年度図書館事業計画について」事務局から説明をお願いします。

(岡本館長より資料3・4・5に基づき「図書館事業計画」の説明)

(庄司会長)

はい、ありがとうございました。平成28年度の事業計画について、ご質問ご意見ございますか。

(野崎委員)

子ども部屋の外国の絵本を閲覧しやすいように改善していくとありますけれども、私もすごく気になっていて、子ども部屋の外国の絵本が子ども部屋に入った時に、遠くにあるのですぐ目にいかない感じがすごくしたので、子どもが自然に興味を持つように場所を考えていただけたらいいのかなという風に。子ども向けの、英語の、外国の本がまとまって置いてあるというのはわかるんですけども、どういったものがあるのか、すぐに目にいかないような感じが今までしていたので、赤ちゃんとか小さい子が見る絵本というのはすぐにわかるんですけども、外国の絵本を少しそちらに持ってくるとか、そういうことをした方が、子どもたちが興味を持つのではないかなと思うんですけども。

(洲永主査)

貴重なご意見をありがとうございます。外国の絵本がやはり奥まったところにあって、お子さんが見るものなので低い位置に置こうということが図書館でありまして、スペース的にはあそこにしか今現在も置けない状態になってしまっているんで

すけれども、以前本が少なかったときには、奥の方の窓際に本棚を全部並べまして、そちらの方に置くようにしていたんですけれども、ありがたいことに予算もつけていただきまして、本が多くなってきたところで本棚を増やしたところ、置く場所に困って今の状態になってしまっているんですね。もう少し、日本の絵本もそうなんですけれども、書架のスペースも確保を考えながら、少し余裕を持たせた状態の書架整理をこれから検討していきたいと思います。洋書だけではなく、日本の絵本ももっと目につく形にしていけたらと思います。

(庄司会長)

外国の絵本が、こんなにあるのかとびっくりしました。高いんですよ。自分で買った「白いうさぎと黒いうさぎ」、外国のやつを買うんですよ。3倍、4倍はするんです。「スイミー」という教科書の絵本、外国の薄っぺらいのが高いんです。そういうのが、こんなに図書館にあるのって。これは、絶対に読み聞かせで、僕はワグナーに頼んで、中学1年生に絵本を、僕が日本語を読んでワグナーに英語で読んでもらう。絵がぴったり同じですから、それで簡単なんですよ。うけるうける、中学1年生に。こんなに英語の本があるのか、僕はそれすごく感動しました。高い本を買っているんだなあと思って、高いんです自分で買おうと。現職のときは買っていたんですよ。そうしたら、図書館に来たらあることあること。これは絶対売りになるなあ。我々は日本語でコミュニケーションをとっていますが、これからは英語も必要ですから、そういう読み聞かせがあってもいいかなとあの本を見て思いました。場所の話とは違って、中身を見てびっくりしました。他にご意見いかがでしょうか。

(野田教育長)

今の話で、外国人の方でカードを作っている人はどのくらいいますか。

(洲永主査)

そう多くはないんですけれども、いらっしゃいます。多分20人か30人くらいはいらっしゃるんじゃないかなと思います。

(庄司会長)

石井委員さん、先ほどの配本事業のことについて、意見でいいのでお願いします。

(石井委員)

中学の配本事業のことですけれども、大変ありがたい公共サービスだなあと感じています。特に本校の中学生の日常を見てみると、ほとんどの子が大体7時くらいには学校に来て、今の季節ですと6時半に下校をする。そうすると通常考えて、日常のウィークデーにですね、公立の市立図書館に足を運ぶってことはまずできない。それから、普段の休日と土日あたりでも、部活動を実施している部が多いですから、そういうときにもなかなか、距離を考えたときには、なかなか遠いなというのを思いますし、長期休業、夏休みとかを考えても長狭地区の子達ってやっぱり市立図書館への距離感というのは、他の地域と比べては大きいのかなと思うんですね。そういうのを考えると、教室に1箱ずつ定期的に本を貸し出していただくサービスというのは、大変ありがたいと思いますので、今後も引き続き、ぜひ継続してほしいという風に思います。あと、子どもたちが自分で本を買おうとなると、どうしても傾向が偏ってしまうというか、好みの本しか買いませんので、教室に自分が図書室や本屋とかに行って、手にとらないような本があるっていう環境というのは、視野を広げられるというか、いいんじゃないかなと思います。

(庄司会長)

いかがでしょうか。

(北村委員)

私は、この28年度の運営全体計画の成人の60代のあたりから感じていることな

んですけれども、だんだん目も衰えてきますし、本を読むのがつらいなあというときがあったりするんですけど、図書館に来て大型活字本と、それから CD がこんなにあるっていうことをあるときに気がつきまして、非常な喜びになったんです。それで知り合いには、こんなにこういうものがあるということを個人的には宣伝しているんですけれども、まだまだ知られていない。この喜びを感じられる人が少ないと思って、こちらで言葉にしてみると、いろいろなアイディアが浮かんだりして、よりよい広げ方をしてくださるのではないかなと思って、今日ちょっとお話したいかなと思っていたんですが。今、公民館で図書を返すということができるようになってきて、大型活字本や朗読 CD、落語もあるんです。そういうものを公民館を通じて貸し借りができれば、図書館の方の業務がまた、その辺はあまり深く考えずに発言してしまいますけれども、また、各公民館はよく高齢の方がサロンとして集まったりします。そこで CD のリストなり大型活字本のリストが目に入って、これが借りたいたか今度図書館に誰かに乗せていってもらって、こういうものがあるんだったら借りてみたいとかいう、宣伝のポスターみたいなものを公民館なり、高齢者が集まるような所に掲示することができれば、あの喜びを感じる方がとても増えて。なかなか扱いが難しいと思うんですね、CD なんかは。なので、それから先のことはきっと図書館の方々が考えてくださるんじゃないかなと思うんですが。知らせてあげたいなあ、知ってほしいなあというところです。

(洲永主査)

現在、分室の方には、分室にあるもののリストしか置いていないんですね。それで、北村委員さんの言われたように鴨川図書館にあるものを宣伝をして、皆さんの目につくようにしていけば、もっと、まだこんなにあるんだってというようなことを理解していただけるのではないかなと感じています。広げていきたいなあと思います。

(野田教育長)

ひとつ、安全面のことでいいですか。ここは、横断歩道が向こうまで行かないとないですよ。そこのふれあい公園、そこの横断でこれまで危ない事故等はどうだったですか。

(洲永主査)

事故はこれまで特に無かったんですけども、やっぱり、ここはカーブの途中なので、すごくスピードを出してくる車が多いので、あまりここから渡らせるようなことは親御さんもしてはいないですね。ただ、横断歩道がすごく遠いので。

(野田教育長)

公園があつて、小さい子どもを遊ばせていて、図書館があつて非常にいい環境なんだよね。

(洲永主査)

土日になると、図書館の駐車場も少ないので、市役所の駐車場を使って渡ってくるとご家族も多いので、確かに横断歩道があるといいなと感じます。

(庄司会長)

1 回事故があると騒ぎになるね。

(洲永主査)

人身事故は無いんですけど、車が飛び込んできたっていう、花壇まで入ってきたりとか。駐車場に突っ込んでしまったという車は何回かあります。

(庄司会長)

本を返す人が、よくそこに止まっている。路駐していて、カーブでオイと思うんですよ。それでポストに返して、自分はすぐだからって、結構そのカーブにいますよ。

(洲永主査)

そうなんです、危ないんです。

(庄司会長)

でもね、危ないと事故って無いんだよね。案外、気をつけているから。でも、ひとつ事故が起きたら、どうなんだってなりますよね。他にいかがでしょうか。

(佐藤委員)

私は住んでいるところが館山市なんです。今まで13年間館山市の方で仕事をしていたんですが、図書館の利用はすごくやっています。図書館を自分の本棚として活用していて、それで今、昨年から鴨川市で勤務をしているので、昨年鴨川市図書館のカードも作りました。利用もしたいと思っています。今年度の鴨川市図書館の新規事業を聞いて、すごいなあと思ったんですけど、館山市図書館とやっていることはすごく似ていたり、館山市図書館よりも進んでいるところもあるんですけど、ひとつ私が館山市で勤務していた時に良かったのが、バスの中に本をたくさん入れて、わかしお号というのが月2回巡回をして来るんです。図書館に自分で行かれないお子さんとかが利用したりとか、行かれても自分で本を借りられるということで、学校に来た時には、自分のクラスの子を昼休みに集めて、借りさせたいというのがあったんです。この配本事業ってとても素敵なんですけど、これは例えば担任の先生が図書館の司書に、こういう本が欲しい、読みたいってことで、担任からの希望がいたりとかするんですか。

(洲永司書)

要望は聞いているんですけども、実際は今のところ最初の時点でしかなかったんですが、先生方のご意見をいただきたいと思っています。

(佐藤委員)

はい、そうなんです。やっぱり子どもが手にとって見て借りるのもいいのかなって。私はいま、鴨川小学校なんですけど、ほとんどのお子さんが図書館を利用しているというのは聞いてるんですが、やっぱり自分で行かれないとか行ったことがないっていうお子さんがいるんです。2年生で学習では行っているんですけど、その後ぱったりと行かないっていう子もいます。なので、その子にはずうっと学校の中の図書館の本とか、私のクラスだったら佐藤文庫っていうのがあるんですけど、それくらいしか自分から借りるってことが、経験が無いのでもう少し経験が増えたらいいなって思った時に、そういえば館山市にバスに本を入れて、月2回来たのがあったなっていうのを今思い出して、そういうのがあるといいなって思っています。でも、すごくいろいろな手立てがたくさんあって、これは素敵なことだなと思います。

(洲永主査)

今、佐藤委員がおっしゃっていたのは、移動図書館というものだと思うんですけど、やはり専用のバスが何千万という金額になってくると思われます。やはり要望としては、現実あるんですけども、その前の段階として中学校へは配本事業を始めようということで、配本事業を始めているところです。まだ移動図書館までにはいたっていないということでございます。

(庄司会長)

移動図書館のことを埋めようとして、配本事業を始めたんじゃないの。

(洲永主査)

それも、はじめとしてはあります。

(庄司会長)

最初はそんな雰囲気だったよね。

(洲永主査)

それが目標というか、そういうものができたらいいなというものの始まりとしてやったんですけれども。

(庄司会長)

館山市は学校数が多いから、配本事業をやったら大変だから。それもやっているの。

(佐藤委員)

館山市図書館は学校で、今回こういう勉強をしたいので本を借りたいっていうと、わかしてお号と一緒に持ってきてくれます。

(庄司会長)

定期的にグルグル回ってくるんだ。自分は、館山市に2年しかいなかったから、どうだったっけなと思って聞いてしまいました。それぞれのカラーというか、館山が配本事業をやったら大変だと思いますしね。他にはどうでしょうか。

(野崎委員)

中学生と高校生の方が図書館に来るのが少ないという話だったんですけど、小学生が多いという話で、小学生の内にとっても本が好きで図書館に通うというか、度々来るお子さんが多いと思うんですけども、小学生の特に高学年なんですけど、中学生が読むような本にもとても興味があると思うので、中高生の読む本というのは学習机がある向こうの方にあるので、それをもう少し身近な、子どもの部屋の手が届くというか、読みやすいよう、興味をもてるような所に置くなどしてはどうかと思いますけれども。

(洲永主査)

実は、中高生コーナーの脇に学習机がありまして、そちらを使いながら中高生が本を読んでいるというお子さんもいらっしゃいます。逆に子どもの部屋ではなく、大人に一步入ったっていう、そういう実感を持っているお子さんもいらっしゃるという風に思っていて、それであの場所に置かせていただいています。

(野崎委員)

そういう風には思っていたんですけども、ただ小学校の高学年、5・6年生の子がそちらに行くかということ。

(洲永主査)

案内が少ないのかもしれないですね。もう少し見えるようにというか。

(野崎委員)

向こうにあったんだな、っていうのをわかりやすくというか。

(洲永主査)

わかりやすい表示というのをもう少し考えてみます。

(野崎委員)

何冊かあるようでしたら、少しこちらに、子どもの部屋とかでも、高学年の子が読むようなところに置くと、こういう本もあるよって案内だけでもあると。

(洲永主査)

少し工夫をしながら、考えていきたいと思います。

(野崎委員)

そうすると、中学生になっても続いて、その延長線上でもっと図書館に通ったりするんじゃないかと。

(庄司会長)

そうですね。小学生がダントツ、その次は団塊の世代ですからね。団塊の世代の方を少し奥の方にやって、小学生の本を前に出すというかね。団塊の世代は探しま

すから。書架のこととか紹介の仕方、配置の問題とか、また工夫してみていただければと思います。それでは、議題 2 の平成 28 年度事業計画について、ご了承いただけますか。

(挙手全員)

(庄司会長)

挙手全員でございます。議題 2 につきましては可決されました。以上で本日の図書館協議会の議事は終了いたしました、ありがとうございました。これ以降につきましては事務局へお返しいたします。ありがとうございました。

8. その他

(白鳥主査)

「その他」でございますが、事務局より添付資料についてご説明申し上げます。

(白鳥主査より添付資料「新着図書案内」等についての説明)

(白鳥主査)

ただ今の説明につきまして、何かご質問等がございますか。

(「特にありません」の声あり)

9. 閉会

(白鳥主査)

ご質問がないようですので、以上をもちまして平成 28 年度鴨川市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

鴨川市付属機関等の会議公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、
会議録の確認をします。

平成28年7月7日

会 議 録 署 名 人

鴨川市図書館協議会委員

石井 正幸